

第十六回農業戦略本部

令和2年3月10日

会議録

場所	市役所 7階 701 会議室
参加者	参加者 : 市長、農業委員会 会長、山形市農業協同組合 代表理事組合長、山形農業協同組合 代表理事組合長、女性農業者、やまがた農業支援センター 専務理事、山形大学農学部 教授、東北創生研究所 所長 事務局 : 農林部長、農政課長、農政課課長補佐、農政企画係長、営農改善係長、農産係長、就農・経営支援係長、6次産業推進係長 オブザーバー : 山形市農協 経済部長、山形農協 営農経済部長、全農次長

○市長より

本日は、大変お忙しい中、第16回山形市農業戦略本部会議にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染防止のため、山形市におきましては小中学校を3月3日から臨時休校にしているところです。農畜産物の需給バランスへの影響により、相場の混乱が懸念されているところです。このような中、JAグループの全国ナンバーワン営農指導員を決める事例発表会において、山形セルリーの生産振興とブランド化の取り組みを紹介した山形市農業協同組合の鈴木公俊農業振興課長が、最優秀賞に輝きました。誠におめでとうございます。

さて、前回は、『山形市農政課の補助事業について』をはじめ5つの報告事項を報告させていただきました。

本日は、『令和2年度山形市予算案について』をはじめ4つの報告事項を報告させていただき、『中山間地域の戦略農産物について』をはじめ4つの討議事項をご議論いただきます。

以上、どうぞよろしくお願いたします。

1 議題

【報告事項】

- 『令和2年度山形市予算案について』
- 『令和2年度山形市農業戦略本部のスケジュールについて』
- 『山形市農業戦略本部の運営について』
- 『山形市地域農業モデル地区調査研究について』

【討議事項】

- 『中山間地域の戦略農産物について』
- 『畜産振興について』
- 『園芸大規模団地化後の新たな戦略について』
- 『人・農地プランの実質化後の対応策について』

【報告事項】

- 『令和2年度山形市予算案について』
 - 農政課長より、資料に基づき説明があった。

『令和2年度山形市農業戦略本部のスケジュールについて』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

『山形市農業戦略本部の運営について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

『山形市地域農業モデル地区調査研究について』

○東北創生研究所長より、資料に基づき説明があった。

【討議事項】

『中山間地域の戦略農産物について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・高齢者ができる軽い作物が有効的と感じる。
- ・有害鳥獣の対応可能な作物の選定が重要と感じる。
- ・既存部会を活用し、作付けを増やしていくことも重要である。
- ・紅花の連作障害の対応として落花生は有効だった。
- ・本格的に取り組む農地と周辺農地とで戦略を分ける必要がある。
- ・作物の奨励だけでなく、営農指導も大事である。

『畜産振興について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・ニオイ問題で畜舎移転などは困難である。
- ・畜産農家が減っている要因に、初期投資が高く、新規就農が難しい。

『園芸大規模団地化後の新たな戦略について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・さくらんぼの団地化を含め果樹園の放任園地対策を考える。

『人・農地プランの実質化後の対応策について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・地区単位での地区懇談会は重要であるとともに、市全体での話し合いの場も必要と感じる。

【討議事項】

- ・議論内容に配慮し、次回本部会議において引き続き討議する予定であります。